３学期終業式式辞

おはようございます。３学期の終業式に参加してくれてありがとうございます。皆さんが元気に学校に来ていることをうれしく思います。

さて、３学期も今日までですが、この３学期の学校生活はどうだったでしょうか。楽しかったでしょうか。１月１０日の始業式で３学期は短いけれど、１年の総仕上げの時期だと話しましたが、みなさんはこの１年を振り返って自分が成長できたなという実感がありますか。

さて、この３月をもって私も校長を退任します。４年間務めましたが、その間、「心高かれ」という校訓はいい校訓だなあと思っていました。校歌もようやく大きく歌えるようになって、声高らかに「心高かれ」と言えることをとてもうれしく思っていました。

三国高校は高い志を持って、自ら自分をコントロールして行動し、４つの力を身につけ、地域や社会の発展に貢献できる人を育成することを目標にしています。
【究める力】自ら問いを立て、課題に対する答えを見つけ出す
【挑む力】　様々な出来事や困難に勇気と信念を持って立ち向かう
【結ぶ力】　多様な人たちと協力しながら、自分の役割を果たす
【愛する力】ふるさとへの愛着や周囲の人々への敬愛の念を持って行動できる。三国高校の教育目標です。

未来を予測することが大変難しい世の中です。今、皆さんは一人１台タブレットを持って学習していますが、こんなこと５年前に予測できていたでしょうか。１０年後、世の中がどう変わっているのかだれも予測できません。たぶん大きく変わることでしょう。

日本で初の民間出身の校長先生（これも変化の一つ）だった藤原和博先生という方が、その著書で、今の日本は成長社会から成熟社会に変化しつつあるとおっしゃっています。そしてこの変化は、どんどん「正解」がなくなっていく変化であると捉え、正解のない問いをどう解くのかと言います。
それを解くために必要なのは、まず自ら仮説を出して、他者の意見も聞きながら「自分が納得し、かつ関係する他者をも納得させられる」解を導く力だとおっしゃっています。納得できる仮説だから、この仮説を「納得解」と呼び、この「納得解」を導くためには、知識、経験、技術の全てを組み合わせなくてはいけない。
そして、その時重視されるのが「編集」です。編集するためには集まっ

た素材の意味を理解し、それぞれ何が重要か思考・判断しなくてはいけません。そしてその結果を効果的に表現することまでが「編集」です。これからは情報処理型のジグソーパズル型の学力ではなく、情報編集型のレゴ型学力が必要になるとおっしゃっています。

今年の卒業式で退場の曲に吹奏楽部はRADWIMPSの「正解」を演奏して下さいました。最近、人気の曲ですが、「答えがすでにある問いなんかに用などはない」。かっこいいですよね。ジグソーパズルは完成した時の絵（正解）があるけれど、レゴはブロックを組み合わせて、自分で形を作ることができる。（お手本通りに作るレゴはここでは置いといて下さい。福井駅に新しく作られた恐竜のレゴブロックは見ましたか）
ジグソーパズルも難しいですが、レゴで新しい像を造るのはさらに難しそうです。正解がないんですから。

なかなかみんなが納得する解を作り上げるのはとても難しいです。でもこれからはそれが求められます。ぜひ高校時代にチャレンジ「挑」んでください。何かをとことん「究」めましょう。まわりのいろんな人と縁を「結」びましょう。そして、地域や仲間を「愛」して欲しいと思います。そこから三国高校の、みなさんの「正解」ができあがってくるのかもしれません。

三国高校の教育目標はとても素敵だと思っていますが、すでに４年が経過しています。そろそろ新しい目標づくりに挑んでもいいのかなと内心思っていますが、それは来年の三国高校の皆さんにお願いします。

終業式に当たって、改めて三国高校の教育目標を思い出してもらい、目標を達成できたのか振り返り、来年に向かう契機として欲しくてお話をしました。２年生はもうすぐ３年生です。学校の中心として活躍してください。１年生ももうすぐ後輩の１年生が入学してきます。新１年生に恥ずかしくない２年生となりましょう。